

基本政策 1 市民の役に立つ所になる

【基本政策の方向性】

基本構想に掲げる理想の“未来”の実現に向け、市民が「富士見市に住んで良かった」と感じることができ、充実した日々を送ることができるよう、市民の視点に立ったサービス提供を総合的に推進し、市役所がその名の通り、市民の役に立つ所となることを目指します。

5年後の目指す姿

「市民満足度の向上」

市民ニーズを的確に把握し、社会情勢の変化に迅速に対応していくことで、個人の暮らしや人とのつながりを充実させるとともに、生活環境の向上と市の成長を促進させ、市民満足度を向上させていくことを目指します。

| 【数値目標】 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------|-----|-----------|
| 行政運営に対する満足度（市民意識調査） | — ⇒ | 75.0%（R7） |

基本施策

1－1 人材（財）育成

質の高い行政運営を行うため、市民に信頼され、期待される人材（財）の育成を推進します。

| 【KPI】 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------|-----|---------|
| 職員対応や印象等について肯定的評価（市民意識調査） | — ⇒ | 65%（R7） |

【主な取組】 職員の能力開発

各種職員研修や、人事評価制度を通じた職員の育成などにより、改善意識やコスト意識を持ち、市民福祉の増進に向け、実行できる人材（財）を育成します。

| 【KSF】 | 現状値 | 目標値 |
|--------------------|-------------|-----------|
| 1年に1回以上研修受講する職員の割合 | 73.1%（R1） ⇒ | 80.0%（R7） |

1-2 財務運営

安定した市政の運営ができるよう、「富士見市健全な財政運営に関する条例」に基づいた財政規律の維持・向上に努めるほか、人口減少などにも対応した公共施設マネジメント¹を推進することで、健全な財務運営を推進します。

| 【KPI】 | 現状値 | 目標値 |
|--------|------------|------------------|
| 実質収支比率 | 5.0% (H30) | ⇒ 3.0~5.0% (毎年度) |

【主な取組】 自主財源の確保

弾力的な財政構造の構築を図るため、自立的な税収基盤の整備を推進するほか、使用料・手数料の適正化や効果的な基金の活用など、自主財源の確保に努めます

| 【KSF】 | 現状値 | 目標値 |
|--------|-------------|----------------|
| 自主財源比率 | 53.2% (H30) | ⇒ 55.0%以上 (R7) |

1-3 行政運営

機能的な組織による計画的な行政運営を実現するとともに、市民や企業、NPO などとの連携推進や ICT の活用など、柔軟で実行力のある行政運営を目指します。

| 【KPI】 | 現状値 | 目標値 |
|----------------------------|-----|------------|
| 第6次総合計画・第1期基本計画におけるKPIの達成率 | — | ⇒ 90% (R7) |

【主な取組】官民連携の推進

多様化する市民ニーズに適切に対応していくため、民間事業者のノウハウや資金のさらなる活用や新たな連携手法の導入など官民連携の推進に取り組みます。

| 【KSF】 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------|-----|------------|
| 新たに外部の力を活用した事業数 | — | ⇒ 22件 (R7) |

関連するSDGsゴール



情報公開などに努め、市民が行政活動を知ることができ、コンプライアンスの推進など信頼できる行政運営を推進します。 関連ターゲット (16-6)



富士見市の理想の“未来”の実現のため、市民、企業、NPO に加え、国や県など多様な関係者との連携を進めながら行政運営を進めます。 関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第7次行財政改革大綱 (令和3年~令和7年)

第2期富士見市キラリと輝く創生総合戦略 (令和3年~令和7年)

¹ 市が保有している全公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組み

関連部署

総務部 総務課、職員課

総合政策部 政策企画課、財政課、情報システム課、管財課

市民生活部 税務課、収税課

